#### 製品仕様

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

無線LAN 準拠規格	
インター	ARIB STD-T71 (5GHz帯高度化小電力データ通信システム) ARIB STD-T66 (2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム)
フェース	無線LAN標準プロトコル IEEE802.11a/IEEE802.11b/IEEE802.11g/Draft2.0 IEEE802.11n
伝送方式	直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
USBインター フェース規格	USB Revision 2.0
対応パソコン (※1、2)	USB2.0規格準拠のUSBポート(タイプA)を搭載したDOS/V機(OADG仕様)
対応OS	Windows Vista (32bit) / XP/2000 Service Pack 4 ※Windows 2000をお使いの方は、Internet Explorer 5.5以降がインストールされている必要があります。
送信周波数範囲 (中心周波数)	IEEE802.11a   W52   36/40/44/48ch(5180~5240MHz)
	IEEE802.11b/g $1\sim$ 13ch(2412 $\sim$ 2472MHz) ※基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの 機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
データ転送速度	IEEE802.11n 20MHz Channel <800nsGl> 130/117/104/78/52/39/26/13Mbps(mcs8-15) 65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps(mcs0-7) IEEE802.11n 20MHz Channel <400nsGl> 144.5/130.0/115.5/86.7/57.8/43.3/28.9/14.4Mbps(mcs8-15) 72.2/65.0/57.8/43.3/28.9/21.7/14.4/7.2Mbps(mcs0-7) IEEE802.11n 40MHz Channel <800nsGl> 270.0/243.0/216.0/162.0/108.0/81.0/54.0/27.0Mbps(mcs8-15) 135/121.5/108.0/81.0/54.0/40.5/27.0/13.5Mbps(mcs0-7) IEEE802.11n 40MHz Channel <400nsGl> 300.0/270.0/240.0/180.0/120.0/90.0/60.0/30.0Mbps(mcs8-15) 150.0/135.0/120.0/90.0/60.0/45.0/30.0/15.0Mbps(mcs0-7) OFDM 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps DS-SS,CCK 11/5.5/2/1Mbps
セキュリティー	WPA-EAP(TKIP/AES)*、WPA2-EAP(TKIP/AES)*、 WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(TKIP/AES)、 802.1X/EAP(WEP)*、WEP(128/64bit) ※対応するEAPは、TLSとPEAPです。
W/ # = 1	最大2500mW
消費電力	
消費電力 消費電流	最大500mA
	最大500mA 温度:0~40°C 湿度:20~80%(結露なきこと)
消費電流	

- ※1 デュアルプロセッサー搭載機種には対応しておりません。
- ※2 USBハブおよびUSB2.0インターフェースボードには対応しておりません。パソコンに直接接続してください。

#### ランプ仕様



点滅(青): 無線LAN機器と通信中

(4)

- ■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁 じられております。
- ■BUFFALO<sup>™</sup>は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AirStation<sup>™</sup>、AOSS<sup>™</sup>は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、 $^{™}$ 、 $^{○}$ 、 $^{®}$  などのマークは記載していません。
- ■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- ■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、 お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
  ・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になる
- システムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- ■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- い。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。 ■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日
- 本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。 ■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された
- 取扱方法に違反する使用はお止めください。
  ■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合につ
- いては、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- ■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

かんたん導入ガイド

#### ■ 電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
- ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

・本製品を分解/改造すること

- IEEE802.11aのW52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。

の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

- 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局 ①構内無線局(免許を要する無線局) ②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注
- 意してください。 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確
- 認してください。 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困り のことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

	使用周波数带域	2.4GHz
	変調方式	DS-SS方式/OFDM方式(IEEE802.11b/g対応製品) DS-SS方式 (IEEE802.11b対応製品)
	想定干渉距離	40m以下
	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

#### 無線LAN製品で使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線親機間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。

BUFFALOの無線LANセキュリティーに対する取り組みについては、「エアステーション設定ガイド」の「無線LAN製品で使用時におけるセキュリティーに関するご注意」をご覧ください。

# き、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、

かんたん導入ガイド

WLP-UC-AG300 マニュアル

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

#### パッケージ内容

35010744 ver.01 1-01 C10-013

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの代理店・販売店にご連絡ください。

- USB2.0用無線子機(本体)
   1個

   USB延長ケーブル
   1本

   エアナビゲータCD
   1枚

   かんたん導入ガイド(本紙)
   1枚

   安全にお使いいただくために必ずお守りください
   1枚

   シリアル番号シール
   1式

   ユーザー登録はがき/保証書
   1枚
- ※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。
- ※本製品に同梱されているユーザー登録はがきは、保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

## 本製品のセットアップ (Windows XP/2000編)

本製品をパソコン (Windows XP/2000) に取り付けてドライバーおよびユーティリティーをインストールします。

※Windows 2000をお使いの場合は、パソコンにInternet Explorer5.5以降がインストールされている必要があります。

※本製品は、画面に取り付け指示が表示されてから、取り付けてください。 先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、本製品を取り外してください。

1 パソコンを起動します。

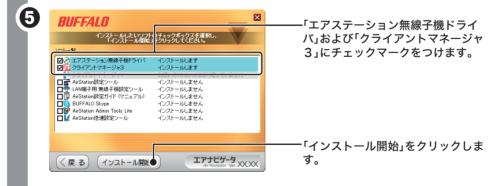
BUFFALO

② 添付のCD-ROM(エアナビゲータCD)をパソコンにセットします。 しばらくすると、エアナビゲータが起動します。



<del>----</del>「オプション」をクリックします。

4 「上級者向けインストール」をクリックします。



画面にしたがって、インストールをおこなってください。

しばらくセットアップを続けると、下の画面が表示されます。

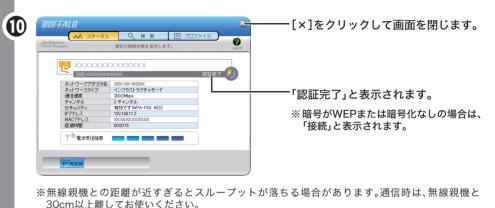
※IEEE802.1X認証を利用する場合は、画面右上の[ $\times$ ]をクリックして画面を閉じ、本紙裏面の「IEEE802.1X 認証を利用するには」を参照してください。





・この接続をプロファイルに登録する場合は、「プロファイルに登録する」のチェックマークをつけて、[接続]をクリックします。

・暗号化方式が「WEP」の場合は、通常、「1」の欄に暗号化キーを入力します。



「インストールが完了しました」と表示されたら、「戻る」をクリックします。

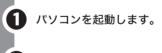
12 画面右上の[×]をクリックして、画面を閉じます。

# 本製品のセットアップ (Windows Vista編)

本製品をパソコン (Windows Vista) に取り付けてドライバーおよびユーティリティーをインストールします

※本製品は、画面に取り付け指示が表示されてから、取り付けてください。

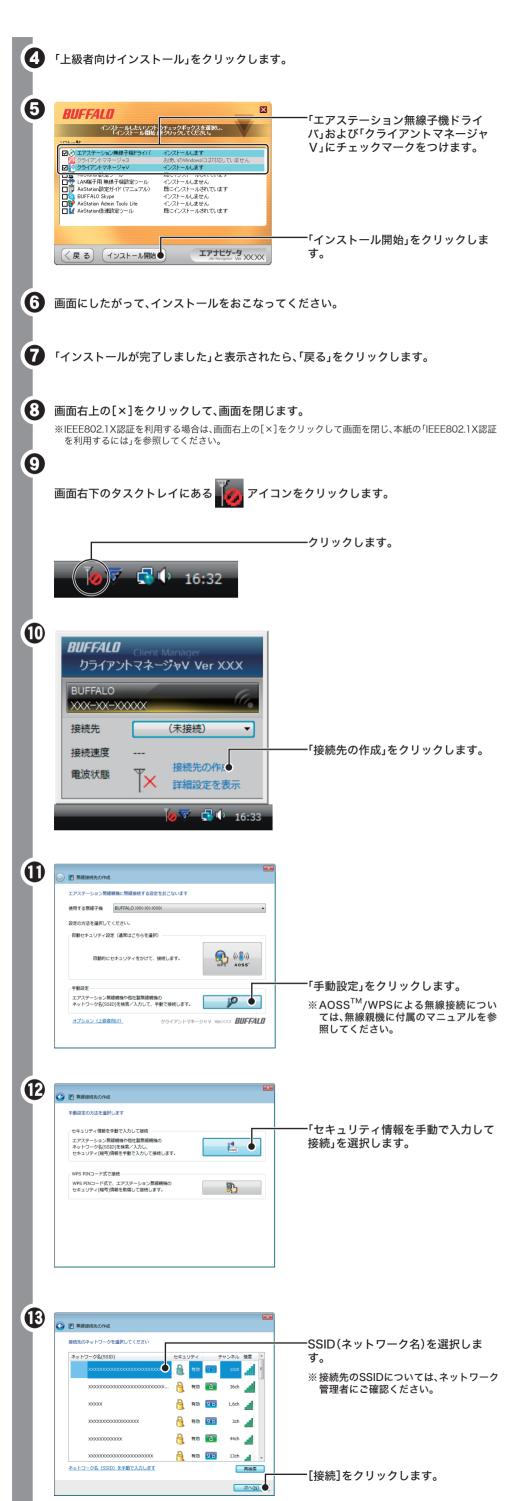
先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、本製品を取り外してください。

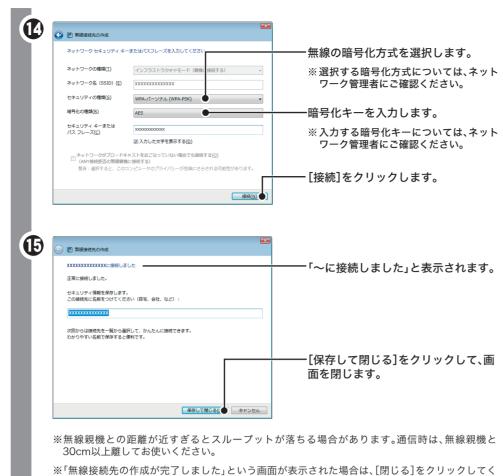


② 添付のCD-ROM(エアナビゲータCD)をパソコンにセットします。



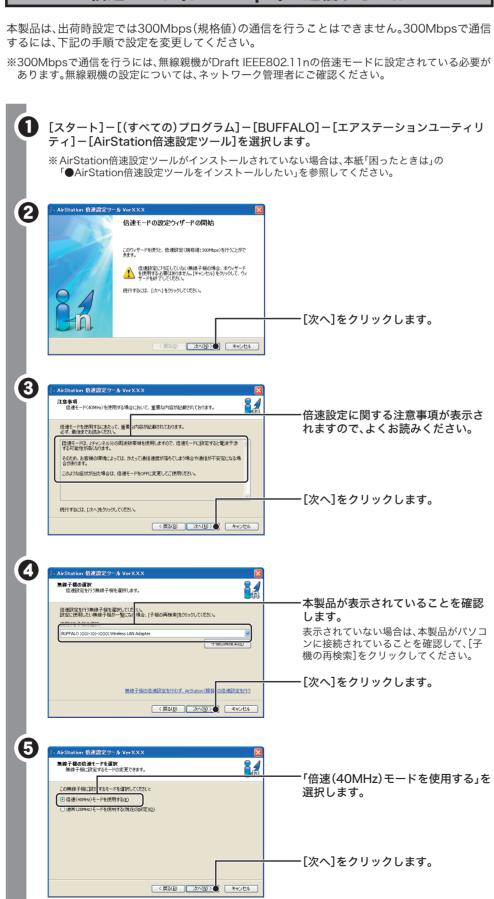


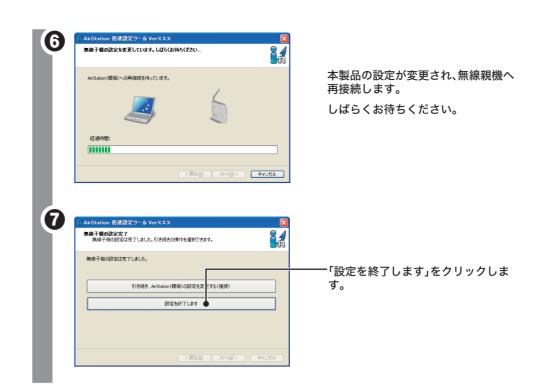




# 倍速モード(300Mbps)で通信するには

- 本製品は、出荷時設定では300Mbps(規格値)の通信を行うことはできません。300Mbpsで通信





#### IEEE802.1X認証を利用するには

IEEE802.1X認証の設定方法は、添付CD-ROMに収録されている「エアステーション設定ガイド」 に記載されています。以下の手順で「エアステーション設定ガイド」をご参照の上、設定を行って

- 1. 添付CD-ROM「エアナビゲータCD」をパソコンにセットします。
- ※ お使いのパソコンによっては、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されること があります。その場合、[続行]をクリックしてください。
- 2. [マニュアルを読む]をクリックします。
- 3.「マニュアルをインストールしてから読みますか?」と表示されますので、インストールする場 合は、[はい]をクリックします。
- ※ インストールしたマニュアルは、[スタート] [(すべての)プログラム] [BUFFALO] [エアステー
- ションユーティリティ] [AirStation設定ガイド] から、いつでも参照することができます。 4. 「エアステーション設定ガイド」が表示されたら、「マニュアルを読む」ー「製品情報」ー「無線子 機」の順にクリックします。
- 5.「WLPシリーズの802.1X認証の設定について」をクリックすると、IEEE802.1X認証の設定方 法が表示されますので、手順を参照して設定を行ってください。

#### 本製品を取り外すには

Windowsの動作中に本製品を取り外すときは、以下の手順にしたがってください。

#### Windows Vista/XPをお使いの場合

そのまま、パソコンから本製品を取り外してください。

# Windows 2000をお使いの場合

- 1. タスクトレイに表示されている取り外しアイコン 🍑 をクリックし、[BUFFALO WLP-UC-AG300] Wireless LAN Adapterを安全に取り外します]を選択します。
- 2.「安全に取り外すことができます」と表示されたら、本製品を取り外します。

#### 困ったときは



#### ●本製品のドライバーがインストールできない場合(ランプが点灯・点滅しない)

- ⇒ 本製品を下記の手順で再インストールしてください。
- 1. 付属CD-ROM「エアナビゲータCD」から「オプション」 「ドライバの削除」を実行して本製品のドラ イバーを削除します。
- 2. 無線子機をパソコンから取り外して、パソコンを再起動します。
- 3. 再度、「本製品のセットアップ」を参照して、セットアップをおこないます。

#### ● <本製品をWindows XP SP1でお使いの場合>ドライバーがインストールできない(「失敗 しました」と表示される)インストールできても数分後に無線接続が切れて使えなくなる

- ⇒ ご利用のパソコンに、Microsoft提供のWindows XP SP1用更新プログラム (KB822603)をイ ンストールするか、最新のService Packをインストールしてください。更新プログラム (KB822603)および、最新のService Packの入手方法とインストール方法は、ご利用のパソコン メーカーにお問い合わせいただくか、下記のMicrosoftホームページをご参照ください。
- ・Windows XP SP1 USB1.1および2.0更新プログラム(KB822603) http://support.microsoft.com/kb/822603/ja

・最新のService Pack

http://support.microsoft.com/kb/322389/

#### 参考: Windows XPのService Packのバージョンを確認する方法

[スタート]-[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択し、[全般]タブを選択し

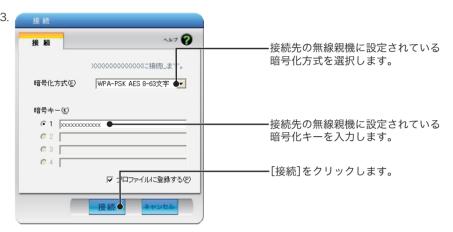
Service Packと記載してある箇所が、Service Packのバージョンです。

#### ●手動接続を利用して接続先を追加登録したい(Windows XP/2000をお使いの場合)

1. 画面右下のタスクトレイにある アアイコンを右クリックして、「検索を行う」を選択します。







- ・この接続をプロファイルに登録する場合は、「プロファイルに登録する」のチェックマークをつけ て、[接続]をクリックします。
- ・暗号化方式が「WEP」の場合は、通常、「1」の欄に暗号化キーを入力します。



#### ●手動接続を利用して接続先を追加登録したい(Windows Vistaをお使いの場合)

⇒ 本紙の「本製品のセットアップ(Windows Vista編)」の手順9以降を参照してください。

### ●パソコン同士でファイルを共有する場合

⇒ 各パソコンにネットワークの設定が必要です。設定方法については、お使いの環境によって異なり ますので、ネットワーク管理者にご確認ください。

#### ● AirStation倍速設定ツールをインストールしたい

- ⇒ AirStation倍速設定ツールは、以下の手順でインストールしてください。
- 1. 付属CD-ROM「エアナビゲータCD」をパソコンにセットします。
- しばらくすると、エアナビゲータが起動します。
- ※ Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[AirNavi.exeの実行]をクリックして ください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリック
- 2. [オプション]をクリックします。
- 3. [上級者向けインストール]をクリックします。
- 4.「AirStation倍速設定ツール」にチェックマークをつけて、[インストール開始]をクリックします。
- 5.「インストールが完了しました」と表示されたら、[戻る]をクリックします。
- 6. 画面右上の[×]をクリックして、エアナビゲータ画面を閉じます。
- 以上でAirStation倍速設定ツールのインストールは完了です。

#### ●本製品の無線モードを出荷時設定に戻したい

- ⇒無線モードを出荷時設定に戻すには、以下の手順で設定を変更してください。
- 1. 本紙の「倍速モード(300Mbps)で通信するには」の手順1~4を行います。
- 2. 「通常(20MHz)モードを使用する」を選択し、[次へ]をクリックします。
- 3. 設定が変更されます。
- 4. 「無線子機の設定は完了しました」と表示されたら、[設定を終了します]をクリックします。
- 以上で設定は完了です。

右上へつづく (2) 右上へつづく 右上へつづく (3) 次ページへつづく➡